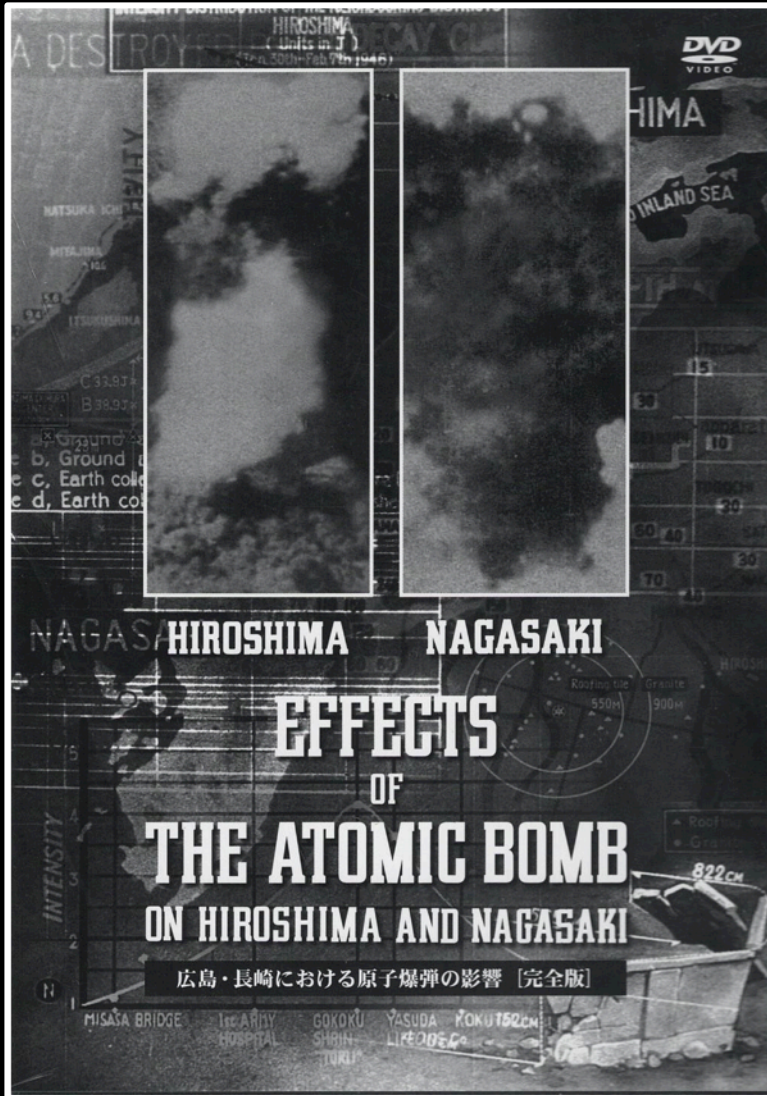


第71回 憲法を考える映画の会

広島・長崎における原子爆弾の影響 EFFECTS OF THE ATOMIC BOMB ON HIROSHIMA AND NAGASAKI



1945年9月、原爆投下1ヶ月後の広島と長崎で、科学者とカメラマンの見たものは何か？
そこで彼らは何を知り、何を考えたか？
調査された「原子爆弾の影響」の研究成果は、戦後の世界でどのように活かされたのか、活かされなかったのか？
GHQによって接収されたフィルムが、アメリカでも公開されず、“幻の映画”となったのはどうしてか？
1967年、一度返却されたフィルムが、文部省によって公開を制限された理由は何か？

今、私たちは、この映像によって原爆投下直後、広島、長崎を訪ねた科学者とカメラマンの目で、もう一度、あの時を追体験することができます。
そこには、いくつもの疑問や問いかけが湧いてきます。
いうまでもなく、この記録映画は、ヒロシマ・ナガサキの原爆被害の一次映像資料なのです。

私たちは、この幻の原爆映画から、今、あらためて原爆を、核を、それらに支配された戦後を、そしてこれからも続くであろう世界の戦争を、もう一度考え直します。
これは、私たち自身が、ひとりひとりが、原爆とは、核とは、どのようなものかを考えていく映画です。

記録映画『広島・長崎における原子爆弾の影響』

映画『広島・長崎における原子爆弾の影響』は、かつて「幻の原爆映画」と呼ばれた映画です。
原爆投下の1945年に製作が開始され、翌1946年に完成。完成した映画の全てのフィルム素材はアメリカによって「没収」されましたが、映画の内容が機密に触れるという理由で、アメリカ国内での公開もされることなく空軍基地に保管されてしまいました。
その後、日本に返還された16mm縮小版の公開、市民運動による日本語吹き替え版の公開など様々な形で映画は人の目に触れるようになりましたが、程度の良いオリジナルの画像とオリジナルの音声を観賞することはかなわずにいました。

2009年、東京国立近代美術館フィルムセンターと広島市映像文化ライブラリーはアメリカ国立公文書館より新たにフィルムを取り寄せ日本語字幕版を完成させました。

DVD『広島・長崎における原子爆弾の影響』は、この最新のフィルムをマスターとして製作されました。
「幻の原爆映画」を完成当時の状態のまま観賞できる初めての映像商品が、65年の歳月を経てここに誕生しました。
(日映映像：DVD作品概要より)



第71回 憲法を考える映画の会

- 日時：2023年8月6日（日）
13：20～16：50
- 会場：文京区民センター 3A会議室
(地下鉄春日駅2分・後樂園駅5分)
- プログラム
13:20 開会
13:30 『広島・長崎における原子爆弾の影響
EFFECTS OF THE ATOMIC BOMB
ON HIROSHIMA AND NAGASAKI』上映
1946年制作（164分：広島編81分、長崎編83分）
16:20 トークシェア（感想など出し合う）
- 参加費 1000円 学生・若者：500円
(当日、会場でお支払いください。予約不要です。
どなたでも参加できます)

憲法を考える映画の会

〒185-0024 東京都国分寺市泉町3-5-6-303
TEL&FAX：042-406-0502
E-mail：hanasaki33@me.com
ホームページ：http://kenpou-eiga.com

憲法を考える映画の会 (関連上映会) これまでの上映作品 (2013年4月~2023年7月)

<p>第1回 2013年4月06日 戦争をしない国 日本</p>	<p>第21回 2015年10月25日 首相官邸の前で</p>	<p>第45回 2018年9月23日 スペシャリスト 自衛なき自衛隊</p>	<p>第59回 憲法映画祭2021 2021年4月17日 戦争のつくりかた/戦争をしない国日本 シャドー・テイル/ 1987、ある国いの真実</p>
<p>第2回 2013年5月19日 八十七歳の青春 市川房枝生涯を語る</p>	<p>第22回 2015年11月28日 ハーツ・アンド・マインズ ベトナム戦争の真実</p>	<p>第46回 2018年11月03日 OKINAWA1965</p>	<p>第60回 2021年6月06日 ハワイマレー沖海戦 ドキュメント 真珠湾攻撃 ミッドウエイ海戦</p>
<p>第3回 2013年6月15日 映画 日本国憲法</p>	<p>第23回 2016年1月31日 白バラの祈り ソフィー・ショル、最後の日々</p>	<p>第47回 2018年12月08日 南京！南京！</p>	<p>第61回 2021年8月08日 荒野に希望の灯をともし</p>
<p>第4回 2013年7月06日 日本国憲法誕生</p>	<p>第24回 2016年3月26日 グラニート 独裁者を追い詰める</p>	<p>第48回 2019年1月27日 わたしの描きたいこと</p>	<p>自主制作映画見本市#6 2021年9月26日 外国人収容所の闇/君が代不超立/ 終わりの見えない闘い/ 闇に消されてなるものか</p>
<p>第5回 2013年8月10日 日本の青空</p>	<p>第25回 憲法映画祭 2016年5月01日 映画 日本国憲法/ありふれた ファシズム/ショック・ドクトリン</p>	<p>第49回 2019年3月02日 天から落ちてきた男</p>	<p>第62回 2021年11月21日 子どもたちの昭和史</p>
<p>第6回 2013年9月14日 ペアテの贈りもの</p>	<p>第26回 2016年6月26日 ザ・思いやり</p>	<p>第50回 憲法映画祭 2019年4月26日~28日 あの日の声を探して/天皇の名のもとに/ 証言 侵略戦争/陸軍前橋飛行場/ 沖縄スパイ戦史/ありふれたファシズム/ ショックドクトリン/ ベトナムから遠く離れて/共犯者たち</p>	<p>自主制作映画見本市#7 2021年12月26日 原発の町を追われて//パークレー市民がつくる町 日高線と生きる/ 作兵衛さんと日本を撮る/いのちの海</p>
<p>第7回 2013年11月02日 ショック・ドクトリン</p>	<p>第27回 2016年7月24日 ハトは泣いている 時代(とき)の肖像</p>	<p>第51回 2019年6月30日 死んだらヒマはない/私の描きたいこと ハトは泣いている/隠された爪跡/ OKINAWA1975 知事抹殺の真実/フクシマ2011</p>	<p>第63回 2022年2月06日 観約</p>
<p>第8回 2013年11月30日 レーン・宮沢事件</p>	<p>第28回 2016年9月17日 焼け跡から生まれた憲法草案</p>	<p>自主制作映画見本市#1 2019年4月30日 死んだらヒマはない/私の描きたいこと ハトは泣いている/隠された爪跡/ OKINAWA1975 知事抹殺の真実/フクシマ2011</p>	<p>第1回 ちいさな映画会@中野 2022年2月20日 命(めち)かじり 喉痛 喉腫と生きる 沖縄 暑い長い青春/激突死</p>
<p>第9回 2014年1月18日 ニッポンの嘘 報道写真家 福島菊次郎90歳</p>	<p>第29回 2016年10月15日 NO (ノー)</p>	<p>第51回 2019年6月30日 沖縄から叫ぶ 戦争の時代 宮古島からのSOS</p>	<p>自主制作映画見本市#8 2022年3月13日 侵略者あるいは信者のテロリスト/ 海辺の彼女たち/ウィシマ・サンタマリ/オ キュハイシャント/メトロレディーブルス</p>
<p>第10回 2014年2月08日・3月01日 “私”を生きる</p>	<p>第30回 2016年11月03日 わたしの自由について SEALDs 2015</p>	<p>第7回 憲法を考えるちいさな映画会 2019年7月14日 言わねばならないこと 遅すぎた聖断</p>	<p>憲法映画祭2022 2022年4月23日・24日 グレタひとりぼっちの挑戦/ちむくりさ/ 私たちの生まれた島/若きハルサーたちの唄/ パークレー市民がつくる町/日本鬼子/ 映画日本国憲法/コスタリカの奇跡</p>
<p>第11回 2014年4月12日 9条を抱きしめて</p>	<p>第6回 ちいさな映画会 2014年12月10日 抗い ARAGAI 横浜事件を生きて</p>	<p>第52回 2019年8月10日 ピカドン ひろしま</p>	<p>第1回 憲法と市政を考える会@立川 2022年5月01日 戦争をしない国日本/戦争のつくりかた/ コスタリカの奇跡/パークレー市民がつくる町/ 町の政治 べんきょうするお母さん</p>
<p>第12回 2014年5月24日 死んだらヒマはない 益永スミコ86歳</p>	<p>第31回 2017年1月29日 横浜事件を生きて 横浜事件 半世紀の問い</p>	<p>特別講演会 2019年10月22日 “現代天皇制の心の支配” 山田朗先生 遅すぎた聖断</p>	<p>第1回 憲法を考える映画の会@国分寺 2022年5月15日 荒野に希望の灯をともし</p>
<p>第1回 ちいさな映画会 2014年6月21日 ラブ沖縄</p>	<p>第32回 2017年2月25日 小林多喜二</p>	<p>特別講演会 2019年10月22日 “現代天皇制の心の支配” 山田朗先生 遅すぎた聖断</p>	<p>第2回 ちいさな映画会@中野 2022年6月12日</p>
<p>第13回 2014年7月19日 ファルージャ イラク戦争 日本人入籍事件...そして</p>	<p>第33回 2017年3月26日 武器なき斗い</p>	<p>特別上映会 2019年11月03日 靖国・地霊・天皇 遠近を抱えて PART 2</p>	<p>第8回 憲法を考えるちいさな映画会 2022年6月25日 ヒトラー VS チャップリン 終わらぬ闘い チャップリンの独裁者</p>
<p>第2回 ちいさな映画会 2014年8月17日 僕たちは見た 沈黙を破る</p>	<p>第34回 憲法映画祭2017 2017年4月29・30日 意志の勝利 / 白バラの祈り/夜と霧 / 顔のないヒトラーたち/戦争をしない国 日本/大東亜戦争 / 天皇と軍隊</p>	<p>第53回 2019年10月26日 ニジノキセキ</p>	<p>第2回 憲法を考える映画の会@国分寺 2022年7月17日 闇に消されてなるものか 写真家樋口健二の世界</p>
<p>第14回 2014年9月21日 ありふれたファシズム 野獣たちのバラード</p>	<p>第35回 2017年5月27日 知事抹殺の真実</p>	<p>第54回 2019年12月08日 主戦場</p>	<p>第3回 憲法を考える映画の会 2022年8月13日 TOMORROW明日</p>
<p>第3回 ちいさな映画会 2014年10月4日 遠軽辺野古の闘い 2014年8月 アルマジロ</p>	<p>第36回 2017年7月01日 テロリストは誰?</p>	<p>自主制作映画見本市#3 2020年1月13日 陸軍前橋飛行場/靖国・地霊・天皇 憲法を武器として/9条を抱きしめて 裁判所前の男/選挙が生まれる/</p>	<p>自主制作映画見本市#8 2022年9月18日 2887/ワタシタチハニンゲンだ!/ 葫蘆島遣送/岸辺の代/</p>
<p>第15回 2014年11月22日 ANPO あの熱かった時代の「抵抗」のアート</p>	<p>第37回 2017年8月27日 戦ふ兵隊 日本の悲劇</p>	<p>第55回 2020年2月11日 アフガニスタン 用水路が運ぶ恵みと平和</p>	<p>第66回 2022年10月23日 教育と愛国</p>
<p>第4回 ちいさな映画会 2015年2月1日 スペシャリスト わが青春に悔なし</p>	<p>第38回 2017年10月14日 隠された爪跡 私い下げられた朝鮮人</p>	<p>第56回 2020年9月21日 沖縄と本土 一緒に闘う ヤジと民主主義</p>	<p>第67回 2022年12月25日 日本原 牛と人の大地</p>
<p>第16回 2015年3月14日 証言 侵略戦争 証言 中国人強制連行</p>	<p>第39回 2017年12月10日 ジョン・ラーベ 南京のシンドラー</p>	<p>第57回 2020年11月03日 地の塩</p>	<p>第68回 2023年2月12日 テロリストは誰?</p>
<p>第17回 2015年4月25日 イラク 戦場からの告発 ジャーハダ イラク暴衆の闘い シリア内戦 イスラム国の正体を暴く</p>	<p>第40回 2018年1月27日 憲法を武器として 憲法事件 50年目の真実</p>	<p>第58回 2021年3月27日 地の塩</p>	<p>憲法映画祭2023 2023年4月29日・30日 はだしのゲン/対馬丸/うしろの正面だあれ/ 少女フアンと運命の旅/ ジョニーは戦場へ行った/沖縄ウリずんの雨/ 教育と愛国/ある戦争</p>
<p>第18回 2015年6月13日 井上ひさし 九条を語る 加藤周一 九条を語る 女性達にとっての日本国憲法</p>	<p>第41回 2018年2月25日 ザ・思いやりパート2 希望と行動 編</p>	<p>特別上映会 2020年11月23日 人らしく生きよう 国鉄冬物語</p>	<p>第70回 2023年7月16日 ドキュメント 石垣島/ 沖縄、再び戦場へ (仮) スピンオフ作品</p>
<p>第19回 2015年7月18日 東京裁判</p>	<p>第42回 憲法映画祭 2018年4月29・30日 すべての政府はウソをつく/ニッポンの嘘 東京裁判/NO/ハトは泣いている トランプのアメリカ</p>	<p>自主制作映画見本市#5 2021年2月23日 天皇の名のもとに/グラニート ザ・思いやり/チェルノブイリハート</p>	<p>第58回 2021年3月27日 言わねばならないこと ショック・ドクトリン</p>
<p>第5回 ちいさな映画会 2015年8月23日 弁護士布施辰治 天皇の名のもとに</p>	<p>第43回 2018年6月3日・30日 500年 権力者を裁くのは誰か グラニート 独裁者を追い詰める</p>	<p>第58回 2021年3月27日 言わねばならないこと ショック・ドクトリン</p>	<p>●毎回の映画の会の案内をご希望の方は、 このチラシ表面のE-Mailアドレスまで その旨、お知らせください。</p>
<p>第20回 2015年9月13日 誰も知らない基地のこと</p>	<p>第44回 2018年8月25日 「在日」</p>	<p>第58回 2021年3月27日 言わねばならないこと ショック・ドクトリン</p>	